

石炭・石油・コークス試験用 分離型インテリジェント迅速硫黄分析装置

商品番号: KT-CD4



前書き

石炭、石油、コークスの試験に最適な、高精度な分離型インテリジェント迅速硫黄分析装置をご紹介します。モジュール式電量滴定法、自動二段階燃焼、安定した白金電極を採用し、サイクルごとに迅速かつコンプライアンスに準拠した正確な分析結果を保証します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主なメリット
石炭火力発電	原料炭、微粉炭、燃焼後のスラグ中の全硫黄を高スループットで分析し、ボイラーのスラグ付着評価や排煙脱硫（FGD）負荷の計算を行います。	サンプルあたり3～5分の迅速なターンアラウンドタイムを実現し、リアルタイムのボイラー燃料ブレンドと規制排出基準の遵守を可能にします。
冶金用コークス・製錬	鋳物用コークス、冶金用原料炭、鉄鉱石焼結混合物中の全硫黄を測定し、高炉ライニングの保護と鉄品質の管理を行います。	手動滴定のばらつきを排除し、デジタルによる直接的な硫黄パーセント読み取りで、鋼鉄の純度を厳格なプロセス範囲内に維持します。
石油・石油化学精製	残油、重質原油、ピチューメン、石油コークス、精製触媒中の結合硫黄を定量し、触媒の被毒や排出ガスを監視します。	最大99%までの広い測定ダイナミックレンジを提供し、不完全燃焼による汚れを起こさずに高密度炭化水素を処理します。
地質探査・鉱物採掘	鉱物コアサンプル、地層岩石標本、硫化鉱物精鉱の迅速なスクリーニングを行い、商業的な鉱床の実現可能性と鉱石品位を特定します。	優れた±0.01%の線形性と標準サンプル校正機能により、同一の分析実行内で低硫黄および高硫黄の精密な分析が可能です。
環境・第三者商用ラボ	国内外の電量滴定基準に従い、固体化石燃料、バイオペレット、都市固形廃棄物由来燃料の受託試験および検証を行います。	1,000件の内蔵メモリと自動サンプル番号付けにより、完全なデータ整合性と外部監査向けのシームレスなレポート作成を保証します。
化学・合成燃料製造	合成炭素原料、カーボンブラック、炭素系化学添加物中の硫黄汚染物質のプロセス内監視を行います。	独立した炉加熱制御（700℃～1300℃）により、熱的に分解しにくい硫黄化合物を分解するためのカスタム熱分解プロファイリングが可能です。

パラメータ項目	仕様詳細 (KT-CD4)
モデル名	KT-CD4
測定原理	電量滴定法（GB/T 214-2003準拠）
測定範囲	0% - 99% 全硫黄含有量
分析サイクル時間	サンプルあたり合計3～5分
燃焼段階プログラム	第1段階：約500℃で45秒間滞留 第2段階：1150℃で4分30秒間滞留
炉温度範囲	700℃ - 1300℃（連続調整可能、工場出荷時設定は1150 ± 5℃）
高温ゾーン長	約90 mm 等温中心部
炉発熱体	高密度炭化ケイ素（SiC）加熱管（寸法：40/30 × 200/160 mm）
加熱電流制御	0 - 12 A（キーボード経由で連続調整可能）
サンプル導入機構	高信頼性自動電子スイッチ送り機構

パラメータ項目	仕様詳細 (KT-CD4)
指示電極システム	二重白金 (Pt) 指示電極
電極動的応答時間	≤ 3秒 (ヨウ素-ヨウ化物イオン平衡応答)
電極表面積	電解白金電極板：10 mm × 15 mm (1.5 cm ²)
電解セル容量	400 mL容量の反応容器
積分器ゼロ点ドリフト	10分間の連続ベースラインウィンドウで±0.2 ppm 硫黄
分析線形性	±0.01%
システム誤差補正	認定標準参照物質 (SRM) による校正
データロギング・保存	1,000件の過去試験記録 (本体でのクエリおよび印刷機能付き)
自動インデックス・カウント範囲	1から65535まで自動連続インクリメント (停電時も保持)
ユーザーインターフェース・制御	硫黄パーセントおよびミリグラムを表示するデジタルディスプレイ付きタクトイルメンブレンキーパッド
コントローラー寸法 (幅×奥行×高さ)	360 mm × 300 mm × 140 mm
管状炉寸法 (幅×奥行×高さ)	600 mm × 290 mm × 300 mm
電源要件	AC 220 V ± 10%, 50 Hz, 単相
最大消費電力	3.0 kW